

令和元年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

＜調査研究報告書タイトル＞

児童相談所の専門職の資格の在り方その他必要な資質の向上を図る方策に関する調査研究

＜実施主体名＞

三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社

＜調査研究報告書の概要＞

1. 事業実施目的

児童相談所をはじめとした児童福祉にかかわる人材の専門性向上が求められている。それを踏まえ、児童相談所の職員の専門性の向上に向け、児童相談所の専門職の資格の在り方及びその資質の向上を図るための方策を検討するため、児童相談所職員の資格や経験等の実態を把握する。

2. 事業実施概要

(1) 調査検討委員会の設置

有識者および専門職等からなる検討委員会を設置し、調査の進め方や内容、分析の視点等についての助言を得た。

(2) アンケート調査

児童相談所職員、要保護児童対策地域協議会の調整機関担当職員に対して、職員の資格や経験、業務内容や専門性についてアンケート調査を行うとともに、児童相談所にかかわりのある外部機関に、児童福祉司の専門性等に関する評価と、児童福祉司に今後求められている資質や専門性について尋ねるアンケート調査を行った。

(3) 児童福祉司、児童福祉司SVの意見交換会

東京、大阪の2か所で、児童福祉司および児童福祉司SVの意見交換会を開催し、児童福祉司またSVに求められる資質や専門性についての考え方、現場で感じている課題や要望等を把握した。

(4) 諸外国における取組み調査

児童福祉に関する先進的・特徴的な取組みを行っている国15か国について、児童福祉司にあたる専門職およびその専門職として働く要件、また専門職の資質向上に向けた取組み等について文献調査にて把握した。

3. 結果

各種アンケート調査を通して、児童相談所の職員の資格・経験、担当業務、業務を行う上で必要である資質等の実態を把握した。また、児童福祉司および児童福祉司SVとの意見交換会により、児童福祉司に求められる専門性についての考え方や、現場で感じている課題や要望等の把握を行った。

また、海外事例の調査から得られた専門職養成や専門性向上の取組に関する視点を含め、児童福祉に関わる人材の養成・育成について検討するための課題整理を行った。